

令和3年度 環境活動スタート事業

1 実施校

福島県立あさか開成高等学校（1学年）

2 実施日

令和3年11月25日（木曜日）

3 内容

「The Future We Want=私たちが望む未来=」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化や気候変動は身近なものだけど、キリバスはそれよりも多くの危機を感じていることを知り、地球温暖化の恐怖を改めて感じた。他人事だとは思わず、今までの生活を少し見直して、フードロスやプラスチック製品を減らしたり自分のできることから始めていきたいと思った。

キリバスには良いところが沢山あり、きれいな夕日や海がありますが、現在地球温暖化によりそれらや人々、動植物などが危険な状況にあることがわかりました。悪化させないためにも食べ物や命を無駄にせず、少しでもゴミを減らしていくことが私たちにもできることではないかと考えました。自分の住んでいる地域、県、地球がよりよくなるよう地球温暖化について考えることも大事だと思いました。

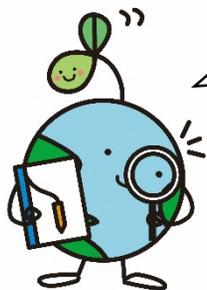
「謙虚な気持ちを持ち、人を大切にすること」「意見・考え方が違って当たり前」「決して諦めない」など心に響く言葉がたくさんあった。SDGsの活動を実施しているあさか開成でこのような話を聞いてよかった。これからもSDGsの活動を続けていきたい。食品ロス・地球温暖化について改めて考えさせられることが多くあったから、これからの行動に生かしたい。

キリバスの国旗のお話がとても凄いなと思いました。そして、地球温暖化で今までになかったような高潮や大雨、乾燥などがあることを知りました。その気候変動は人間が起こしたことであり、世界中の人々が希望を持ち続けて、日常生活で二酸化炭素を空气中に排出することを減らしていけば自然も応えてくれることがわかりました。キリバスがこれからまた美しい姿に戻れるよう身近なことから頑張りたいです。

まずケンタロ・オノさんがキリバスに行くまでの流れがパワフルで、すごい行動力だなと思いました。最初キリバスの話を聞いているときは、日本との関わりが深く、とてもすてきな文化・人々がいるなと思いました。でも、話を聞いているうちに、私がしていた行動がたとえ小さくても、地球には大きな影響を与えているなと感じ、本当にこのままではだめなんだと思いました。

地球温暖化の話はよく聞きます。しかし、どんな状況になっているのかは全くわかりませんでした。今回ケンタロさんの話を聞いて、今の状況を思い知らされました。私たち日本人にとっては少し気温が上がって「暑いな」と思ったり、天気が悪くて「今日は外にでかけられないな」と思うだけかもしれないけど、キリバスの人たちにとっては命の危機にさらされていることだと初めて知りました。自分一人だけで解決できることではありませんが、それを10年も20年も続けたら、少しずつ世界がよくなっていくと思いました。

キリバスは昔から大きな国の都合に振り回されていると聞き、それは良くないなと思いました。今、問題となる地球温暖化を止めるためにSDGsが大事だと聞き納得しました。私達が一番できることは食を無駄にしないことだと思います。まずは、キリバスだけでなく他の困っている国にも関心を向け、どんな状況であるのか知ることが大切になってくると思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・マイバックを使用する

買い物に行くときは、マイバックを使用した。そのほかにもペットボトルや段ボールのリサイクルができるよう、近所のスーパーにある機械も利用した。自分にも地球温暖化を防ぐたえにできることがあると実感した。これからも意識して継続したいと思う。



・無駄な食材を買ったり、レジ袋を購入しないようにする

買い物は必要なものだけを買うようになりました。少ない量の場合はバックの中に入れてたり、多い時は段ボールに入れてたりできるだけ袋を使わないようにしました。意識して生活してみると、やっていることは単純なんだなと思いました。



・食べ物を無駄にしない、フードロス減らす

冬休みは、大晦日やお正月があって、いろんな食べ物を食べましたが、この講演を思い出し、食べ物を残すことなく食べることができました。これからもフードロスを減らすために、食べ物をムダにせず、食べ物に感謝して生活したいです。



・地産地消をする、リサイクルできる製品を使う

プラスチック製品をできるだけ紙製品やリサイクルできるものを買ったり、地域でとれたものを買ったりしてみて、普段染みついていることを見直し改善するのは難しかったけど、これからも継続し少しずつ環境を変えられれば良いなと思った。



・節電、節水

節電、節水は実際にやってみて簡単にできることだと感じました。簡単に誰でもできることだと思うので、大事なことは節電、節水をしようという気持ちなのだと思いました。自分だけが節電、節水をするのではなく、周りの人々にもしてもらいたいと思ったので、これからは皆にも呼びかけていきたいと思っています。

